

2018.7.6
山陽中央新報

稼働の必要性など 松江市長に質問状

市民団体

市民団体「島根原発・エ
ネルギー問題県民連絡会」
(北川泉共同代表)が5日、
松江市の松浦正敬市長に
対し、中国電力島根原発3

号機の原子力規制委員会
への新規基準適合性審
査申請の事前了解に関する
公開質問状を提出した。13
日までの回答を求めている。
る。

質問は4項目。市として
3号機の新規稼働の社会的
必要性や妥当性などを検討
したか▽原子力規制委員会
が適合性審査に合格しても
事故は起こり得ると説明す

る中、審査に合格すれば安
全だと認識しているのか▽
立地自治体の意見を周辺自
治体より尊重すべきとの考
え方の根拠は何か―など。
同市末次町の市役所で、保
母武彦事務局長から書面を
受け取った市の高木博政策
部次長は「市長に伝え、回
答する」と応じた。

(井上善文)

2018.7.6
朝日

申請了承を受け 公開質問状提出

市民団体、松江市長へ

松江市が島根原発3号機
の安全審査の申請を了承し
たことを受け、脱原発を自

指す市民団体「島根原発・
エネルギー問題県民連絡
会」(事務局長・保母武彦
島根大名誉教授)が5日、
松浦正敬市長宛ての公開質
問状を提出した。13日まで
の回答を求めた。

質問状は、3号機の必要
性の検討が十分だったかを
尋ねた。また、松浦市長

が、周辺自治体が安全協定
の見直しを求めている問題
に「立地自治体の意見が最
大限優先されるべきだ」と
発言したことや、反対が相
次いだ安全対策協議会や住
民説明会の意見を了承の判
断で「踏まえた」と発言し
たことの根拠をたじた。

(長田豊)